

目次

| | |
|----------|-----|
| はじめに | I |
| 高校生と交通教育 | III |
| 資料の特徴 | IV |
| 資料の構成 | VI |

[指導資料]

| | |
|---|-----|
| 1. 交通社会人としての自覚はできている？ | 1 |
| 2. 自転車は歩行者？ それとも車両？ | 9 |
| 3. 路上ではみんなパートナー | 21 |
| 4. 一時停止標識があるところでは 自転車も停まらないといけない？ | 29 |
| 5. 二輪車は、四輪車に見せる・見られる運転が大事 | 37 |
| 6. 車に乗せてもらうのは楽しい。でも危険もある | 47 |
| 7. この画面の中にどんな危険がありますか？(自転車乗用中) | 57 |
| 8. 事故にあったらどうする？事故を見たらどうする？ | 67 |
| 9. 違反や事故はあなたの人生設計に影響を与える | 75 |
| 10. 高齢者とよいパートナーシップ | 85 |
| 11. 上手に運転してるのに、危険な運転といわれる。どうして？ | 97 |
| 12. この画面の中にどんな危険がありますか？(原付運転中) | 107 |
| 13. 事故現場であなたができること | 119 |
| 14. 通学路の危険箇所マップづくり | 129 |
| 15. 四輪車の免許を持つことは、プラス、マイナスの両面がある | 135 |
| 16. エコロジーと車の運転 | 143 |
| 17. 路上でよいコミュニケーションをとれることが、 よいドライバーの大事な条件 | 151 |
| 18. 運転はいろいろなものに影響される | 159 |
| 19. 友達を車に乗せるということは 友達の命を預かるということ | 169 |
| 20. 車の速度と自己過信(四輪車) | 177 |
| 21. この画面の中にどんな危険がありますか？(四輪車運転中) | 205 |
| 監修者等と作成過程 | 216 |